



受講
無料

2024年度 <東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」>

アフターコロナ時代の観光産業をリードする 観光DX人材育成講座

本講座では、観光産業の特徴を理解し、観光DXをリードする観光実務家教員に求められる能力の修得を目的として、全12回の講座を実施します。

【開催日程】 2024年10月1日（火）～2024年12月17日（火）（期間中に6日間12講座）

【講座概要】

講座内容	<p>DXの重要性についてはすでに社会的にも認識が定着した一方で、日本企業は総じてこの「業務のデジタル変革」を苦手としており、それは観光業界も例外ではありません。</p> <p>デジタル技術の発展に対応した業務のデジタル化対応というレベルを超えて、トランスフォーメーションという言葉で表現されるような「業務の変革」には依然として課題が大きいことが知られています。</p> <p>この課題に対して、デジタル技術の活用事例に精通するだけでなく、観光事業の「共創的価値創造」の側面と共にデザイン思考やサービスデザインの発想法を理解し、さらには業界実務にも通じた人材が、DXプロセスを具体的に指導する実務家教員として企業や社会で活躍することが期待されています。</p> <p>本講座では、観光DXをリードする観光実務家教員に求められる観光DXに関する基本的な視座を整理・学修し、また、教員として身につけたい基本的な知識・スキルを修得することを目指します。</p>
開催場所	専門学校日本ホテルスクール（〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14） ※対面形式で実施いたします（オンライン参加不可。）
定員	30名程度 ※応募者多数の場合、応募書類に基づき受講者を決定します。※先着順ではありません。
受講資格	観光関連事業に従事（予定を含む）し、東京都内在住または在勤の方
受講要件	12講義のうち10講義以上出席できる方
受講料	無料

【募集期間】 2024年7月29日（月）～8月20日（火）

【お申込み方法】

QRコードからWebにアクセスし、申込フォームに必要事項を入力してください。

講座開催案内（URL） <https://www.rikkyo.ac.jp/events/2024/10/mknpps000002suuw.html>



お問い合わせ： tokyodxseminar@ml.rikkyo.ac.jp
立教大学ビジネスデザイン研究所 観光DX人材育成講座事務局
（電話でのお問い合わせ・お申し込みは受け付けません）

◆講義スケジュール（日時・タイトル・概要・講師）◆

日時	18:20-19:30	19:40-20:50
2024年 10月1日(火)	<p>講義①【イノベーション】 価値共創時代の観光DX 価値共創は、観光における古くからの大原則である。対面性の多い観光領域でいかにDXが展開され、注目されるのかを解説する。</p> <p>村上 和夫（立教大学名誉教授） 庄司 貴行（立教大学ビジネスデザイン科・観光学部教授、ビジネスデザイン研究所所長）</p>	<p>講義②【観光DX推進】 観光産業におけるDXと組織・サービスのイノベーション 観光関連産業におけるDX推進の現状について、政府の取り組みや先進事例の紹介を交えて概説する。</p> <p>斎藤 明（立教大学大学院ビジネスデザイン研究所 副所長・教授） 浅井 杏子（立教大学大学院ビジネスデザイン研究所特任 研究員・NTTデータ経営研究所 シニアマネージャー）</p>
10月15日(火)	<p>講義③【観光DX推進】 観光業におけるデジタル技術活用 観光ビジネスにおいて、ことにマーケティング領域においてデジタル技術を活用するための視座を、具体的な事例を交えながら整理する。</p> <p>今西 建太（株式会社ディアライブ 代表取締役CEO）</p>	<p>講義④【観光DX推進】 観光におけるパーソナルデータの活用 パーソナルデータ、情報銀行という枠組みの中で、旅行業界はどのように発展を遂げるべきか？欧州や日本国内での事例や新しいweb3の概念を交えながら、よりパーソナライズされた観光、観光地運営について考える。</p> <p>花谷 昌弘（立教大学ビジネスデザイン研究所特任研究員）</p>
10月29日(火)	<p>講義⑤【観光DX推進】 観光DX事例 観光産業においてすでに活用可能となっている、最先端の無料データやデータ収集サービスの利用方法を実際の画面などを見ながら具体的に解説する</p> <p>堀江 卓夫（公益社団法人京都市観光協会DMO企画・マーケティング統括官）</p>	<p>講義⑥【DX推進に必要な学び】 DX推進とサービス再構築のための人材育成 DXの推進は組織あるいは観光地を変化させる。働く人々も利用する観光者もその変化を受け入れる必要がある。その為の学びの機会は不可欠である。現代の教育の特徴を学び、実務・実践的領域における実務家教員が担うべき主体的役割について考える。</p> <p>村上 和夫（立教大学名誉教授）</p>
11月19日(火)	<p>講義⑦【DX推進に必要な学び】 ユーザー中心によるニーズ・課題の発掘（理論） 観光DXにおける新たなサービス創出の際には、観光を行う者（ユーザー）を起点に真のニーズ・課題を発掘するアプローチが有効である。本講義ではユーザーを中心に据えた「デザイン思考」を通じ、ユーザー体験設計のポイントを解説する。</p> <p>木田 和海（立教大学ビジネスデザイン研究所特任研究員・NTTデータ経営研究所 マネージャー）</p>	<p>講義⑧【DX推進に必要な学び】 ユーザー中心によるニーズ・課題の発掘（演習） 観光産業において、新たなサービスを「人間にとっての価値（体験）」を中心に設計することが出来るのか。講義⑦を踏まえ、ユーザー中心によるニーズ・課題の発掘を通じた体験設計の要所を演習形式で実践する。</p> <p>木田 和海（立教大学ビジネスデザイン研究所特任研究員・NTTデータ経営研究所 マネージャー）</p>
12月3日(火)	<p>講義⑨【DX推進に必要な学び】 ICT・オンライン授業 観光教育ではICT・オンライン授業の活用はますます期待される手法となっている。オンライン授業やラーニングに役立つツール・手法を用いた最先端の実践事例を紹介しつつ、実践時に配慮すべきポイントについて学ぶ。</p> <p>和田 芳明（立教大学ビジネスデザイン研究科特任教授）</p>	<p>講義⑩【DX推進に必要な学び】 理論と実践の橋渡し 観光領域におけるDX推進というとビッグデータ解析をはじめとするマクロマーケット調査関連が多いが、現場レベルで活用可能な顧客満足度調査の実践方法を探り上げ、その結果をどう経営に反映させるかについて解説する。</p> <p>沢柳 知彦（立教大学観光学部特任教授）</p>
12月17日(火)	<p>講義⑪【DX推進に必要な学び】 理論授業のデザイン・学習評価 長年の経験を通じて抽出された、観光教育において学習目標・評価方法・教授方法を整合的にデザインする授業設計の方法を学び、実際に授業内外の学習をいかに設計して学習者に働きかけるかについて考える。</p> <p>舩谷 鋭（立教大学観光学部教授）</p>	<p>講義⑫【DX推進に必要な学び】 授業設計・シラバス作成（演習） 教育目標・学修目標・学習成果の把握を構造化しながら1学期・14回分の授業設計をいかに行うのか。実際にシラバスを作成し、ワークショップ形式で学ぶ。</p> <p>舩谷 鋭（立教大学観光学部教授）</p>

◆講座責任者：庄司 貴行

（立教大学ビジネスデザイン研究科・観光学部教授、ビジネスデザイン研究所所長）

〈東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」について〉

東京都では、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的として、大学等と連携して観光関連事業に従事する者等に向けた新たな教育プログラムの開発等の支援事業を実施しています。立教大学は2019年度より連携大学に選定されています。

○お申込みに際してのご注意

講義内容・講師等は変更になる場合があります/講座は写真撮影、映像収録を行う予定です/受講される方には、本講座を通じて開示される秘密情報（開示された時点で告知されていない情報）の守秘義務を求めます/お預かりした個人情報は立教大学と東京都で共有し、本事業に関わる目的にのみ使用します